

ベトナム観光業の今後の成長性

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Tran Bao Tran)

1. 初めに

観光業の潜在的能力が高いベトナムは、観光業が主要な産業となることを目指し、様々な政策・計画を推進している。しかし、その一方でいくつかの課題に直面している。本レポートでは同国観光業の現状と成長見通しについて報告したい。

2. 観光業の現状

2.1. これまでの観光業の成長について

ベトナム統計総局によると、観光業の成長率は著しく高い。具体的には、2017年4月にベトナムを訪れた外国人観光客数は107万2千人、前月比6.5%増となった。2017年前半4ヶ月間連続で外国人観光客数が100万人を超えた。2017年5月の外国人観光客数は97万2,844人で、前月比では9.2%減となったが、前年同期比では26.8%増であった。2017年前半5ヶ月間の外国人観光客数は525万6,974人で、前年同期比29.6%増となっている。

ベトナム人の国内旅行者数についても著しく増加している。2010年から2016年にかけて、6年連続でベトナム人の国内旅行者数は増加しており、毎年7%以上の成長率を維持している。

また、統計総局によると、同期間の観光関連企業の利益も6年連続増加しており、2016年には400兆VND（約180億USD¹）となり、2010年の約4倍となっている。



¹企業利益対：1ドル=22.371VND（ベトナム国庫発行2017年5月31日付外貨換算率に関する通達2342/TB-KBNN号に基づく）

このように、観光業は同国の経済発展に貢献しており、主要な産業になる可能性を示している。

2.2. 観光業における強み

観光業が成長を続けている背景として、以下の要因が考えられる。

1. ベトナムには素晴らしい観光名所が数多く存在しているということ。同国は南北に細長く、国土の4分の3が山地、丘陵、台地からなり、気候は北部の亜熱帯から南部の熱帯モンスーンまで変化に富んでいる。さらに、ベトナムは3,260キロの海岸線、125ヶ所のビーチ、数千もの景勝地や文化遺産などに恵まれている。特に、ハロン湾は1994年にユネスコの世界自然遺産に登録、2000年には登録範囲が拡大されたため世界中で知られている。ベトナムの魅力として食文化が注目されやすいが、豊かな自然もまた大きな魅力の一つである。
2. ベトナム政府および民間企業ともに観光業に力を入れているということ。同国政府は観光商品発展戦略²および観光マーケティング戦略³を掲げており、観光関連企業であるサイゴン・ツーリスト旅行会社の社長チャン・ホン・ビエット氏は同国観光業発展のために政府資金への寄付を提案するなど、官民ともに観光業の発展に対し関心が高いことがうかがえる。また、同国の安定した政治情勢や中立主義に基づいた外交政策も観光業の発展にとって有利といえる。
3. ベトナムの観光業における成長率は非常に高く、観光大国として知られるタイを越えた。ベトナム観光総局によると、現在、同国への外国人観光客数はタイの3分の1であるが、成長率ではタイの3倍となっている。特に、外国人観光客数増加率はダナンやフーコック島などのリゾート地で高く、ホーチミン市やハノイを超え、観光業発展に大きく貢献している。また、観光業の成長に向けてインフラ整備が進行している。総合不動産サービス会社のサヴィルズ・ベトナムの統計データによると、2013年から2016年にかけて4-5つ星ホテル数は年平均20%増加した。

2.3. 観光業における課題

観光業の発展のなか、下記のような課題に直面している。

1. ベトナムの観光業において品質向上が十分に重視されてこなかったことは課題といえる。同国への外国人旅行者数は増加しているものの、リピーター数がまだまだ少ない。ベト

²文化体育観光部発行 2016年8月3日決定 2714/QĐ-BVHTTDL 号

³文化体育観光部発行 2014年10月20日決定 3455/QĐ-BVHTTDL 号

ナム観光発展研究所（ITDR⁴）によると、観光業は高い潜在的能力を保有しているにもかかわらず、観光資源の魅力を活かしきれていない。その背景として、中小企業が観光業全体の 75%以上を占めており、また、企業の競争力や企業同士の結びつきが弱いため、品質向上が促進されていないことが挙げられている。さらに、観光地の開発は環境負荷低減よりも利益を重んじる傾向が強いため、過度な開発に繋がる恐れもある。

2. ベトナムの ASEAN 経済共同体（AEC）への加盟は、グローバル化におけるメリットとともに、デメリットをもたらす。2015 年末に発効した AEC では、「単一の市場と生産拠点」を目指すために「物品・サービス・投資・専門人材の自由な移動」が目標として掲げられている。このような目標が実現すれば、サービス業の自由化や、ASEAN 諸国周遊ツアーなど周辺国との協業機会も増えるため、ベトナム観光業の市場は拡大される。しかし、前述の通り同国観光業は競争力や企業同士の結びつきが弱いため、市場拡大することで周辺国との激しい競争に晒され淘汰されてしまう懸念がある。

3. 今後の観光業の成長について

国連世界観光機関（UNWTO⁵）によると、2016 年における、世界全体の海外旅行者数は約 12 億 3,500 万人、前年比 3.9%増となり、経済全体が低成長の中でも増加している。また、2030 年には世界全体の海外旅行者数は 18 億人に増加すると予測されている。けん引役はアジア諸国であり、特に東南アジアが 1 億 8,700 万人の外国人観光客を呼び込むと予測されている。このようなトレンドを鑑みても、ベトナムが観光に力を入れる姿勢は正しいといえる。

2013 年にロンドンで行われた世界観光博覧会（WTM⁶）で発表された観光成長力について、観光業界関係者 1,200 人によるアンケート結果では、アジア諸国内でベトナムは中国に次ぐ第二位となった。アジアティカトラベル社のマーケティング部長であるオレ・ドロズ氏⁷は、ベトナムの観光について、「観光資源が豊富であり、潜在的能力が高い」と発表した。ベトナム観光が高く評価されているのがわかる。

観光業の強みを効果的に発揮するため、ベトナム文化体育観光部は観光商品発展戦略に関する決定 2714/QĐ-BVHTTDL 号を発行した。長期的な視点に立った観光業の行動指針となる戦略である。同戦略は 2020 年にまでに観光業が主要な産業とするため、観光インフラ・技術の整備、観光資源の

⁴ Institute for Tourism development research

⁵ United Nation World Tourism Organization

⁶ World travel market

⁷ Mr. Ole Dross, Marketing Manager at Asiatica Travel

質・魅力の向上、他国に対する競争力の強化等に取り組み、2030年には同国が観光発展国になることを目標としている。

4. おわりに

ベトナムの観光業は、いくつかの課題を抱えているものの、非常に期待が高い分野である。政府の戦略および観光関連企業の取組が、今後ベトナム観光の潜在的能力を十分に引き出す可能性があると考えられる。

5. 参考資料

- 5.1. ベトナム統計総局：統計データ
- 5.2. ベトナム観光総局：観光企業の代表者は観光発展用資金の寄付を提案した（2017年5月17日）
<http://vietnamtourism.gov.vn/index.php/items/23847>
- 5.3. ベトナム観光総局：ベトナムは観光成長率がタイを越し、インフラ整備段階である（2017年4月28日）
<http://vietnamtourism.gov.vn/index.php/items/23711>
- 5.4. ベトナム観光総局：観光業界が安定的成長である（2017年4月26日）
<http://vietnamtourism.gov.vn/index.php/items/23687>
- 5.5. Baomoi ニュース：ベトナム観光が主要な産業になるため（2017年6月1日）
<http://www.baomoi.com/de-du-lich-viet-nam-tro-thanh-nganh-kinh-te-mui-nhon/c/22424842.epi>
- 5.6. ベトナム観光発展研究所：ベトナムにおける中小観光企業の成長の障壁（2016年6月14日）
<http://www.itdr.org.vn/vi/nghiencuu-traodoi/1177-nhung-rao-can-trong-phan-trien-doanh-nghiep-kinh-doanh-du-lich-vua-va-nho-o-viet-nam.html>
- 5.7. ベトナム政府：2025年に向け2030年を目指すベトナム観光商品発展戦略（2011年12月30日）
<http://www.chinhphu.vn/portal/page/portal/English/strategies/strategiesdetails?categoryId=30&articleId=10051267>
- 5.8. Baodautu ニュース：ベトナム観光について世界専門家の評価（2017年6月12日）
<http://baodautu.vn/chuyen-gia-quoc-te-danh-gia-the-nao-ve-du-lich-viet-nam-d64975.html>
- 5.9. ベトナム観光総局：アジア域内、観光潜在力についてベトナムが第二位（2013年12月2月）
<http://vietnamtourism.gov.vn/index.php/items/12920>